



## レクサス専用に設計された TWSのフラッグシップモデル

世界でも名うての鍛造ホイールメーカーであるTWSが、レクサス専用のホイールをリリース。設計もデザインもオリジナルであるうえに、クーペ/セダン用とSUV用のカテゴリーに分けられている徹底ぶりだ。

リポート | 太田 輝 | A.Ohta



▲3本のスポークが1セットになったようなデザインを採用したデザイン クーペ セダン。細身のスポークが上質さとスポーティなイメージを演出している。  
▼ボディのボリューム感に負けない圧倒的な存在感を誇るデザインSUV。Y字型のメッシュデザインスポークによる力強いスタイリングは、SUVとの高い親和性を誇る。

## Design Coupe Sedan

デザイン クーペ セダン



## Design SUV

デザイン SUV



### EXspur EX-fl Design Coupe Sedan

◎サイズ/価格	
20inch × 8.5 ~ 10.0 /	144,720 ~ 164,160 円
21inch × 9.0 ~ 10.0 /	165,240 ~ 183,600 円
◎カラー: グロスガンメタ カットフィニッシュ、ブラッシュド	
◎対応車種: レクサス RC / GS / RC F / GS F / LC / LS	

### EXspur EX-fl Design SUV

◎サイズ/価格	
20inch × 8.5 /	144,720 ~ 160,920 円
22inch × 9.0 /	186,840 ~ 203,040 円
◎カラー: グロスブラックフランクカット、ブラッシュド	
◎対応車種: レクサスRX / NX	

いずれのモデルにもカスタムカラー (5,400円/本) が用意されている。こちらは「グロス・ブラック」「グロス・ガンメタ」「グロス・ブロンズ」「グロス・シルバー」「グロス・ゴールド」の計5色から選ぶことができる。



フラットフェイスでは、ブレーキキャリパーとのクリアランスを確保しやすいというメリットがあるが、コンケイブフェイスではセンター部分が64mmも落とし込まれているためかなり独創的な表情を得ることが可能となる。デザインSUVであっても、ク

ーペセダンであっても純正のセンターキャップが装着可能なので、ホイールを換えても後付け感が無いのも嬉しい。そして、自身のレクサスとのさらなる調和を求めるユーザーのために「カラーカスタム」も用意されている。「グロス・ブラック」「グロス・ガンメタ」などをはじめとする計5色を選択することで、カラーコーディネートの幅を広げることができる。このように、鍛造ホイールにおいて世界第一線級のテクノロジーを持つTWSがレクサス専用に取り上げたホイールは、要所に旨みの詰まった1本といえよう。SUVオーナーにも、クーペやセダンオーナーにも最適な設計とデザイン、そしてスペックで、さらには好みの仕様にアップデートして履けるのだから。

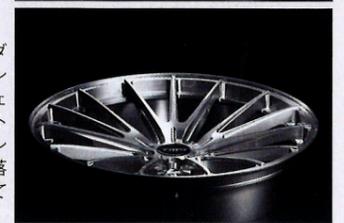


06

TWS

TWS エクスパー・エックスフォーエル

# EXspur EX-fl



デザイン クーペ セダンにはフラットとコンケイブのふたつのフェイスを用意。フラットの25.2mmに対しコンケイブでは64mmの落とし込みが実現されている。



デザインSUV/クーペセダンのいずれのホイールでも純正のセンターキャップを装着することが可能となっている。ホイールを交換しても後付け感なく調和させることができる。

### クルマのキャラクターに 合わせた専用デザイン

TWSは、世界でも屈指の卓越した鍛造技術を持つメーカーとして知られている。本社ファクトリーにある、全長15mにもおよぶ8000トンの鍛造油圧プレス機が生み出す鍛造技術は、実は16年にF1に参戦した約9割のチームの足もとを支えているのだ。鍛造製法のアドバンテージは、軽くて高い強度と剛性を得られる点にある。すなわち、ホイールに求められる基本性能を高水準で満

たす理想的なホイールを作り出すことができる。そして、この「エクスパー」シリーズはTWSのフラッグシップブランドというだけあって、同社が持つ鍛造技術を余すことなく注ぎ込み、設計・開発されている。また、エクスパーは自動車メーカーごとに専用の設計が行なわれている点も特徴だ。もちろんデザインにおいても、各メーカーのエンジニアに合わせたスタイリングが採用されている。「EX-fl」ではレクサス専用の設計が行なわれており、車種専用サイズがラインナップされているのである。よって、仮にインチアップをした場合であっても完璧なフィットリングを実現できるようにしているのだ。

さらに、デザインにおいても、最新のレクサス各車が採用しているエクステリアデザインに合わせたテイストに仕上げられている。特筆すべきは、クーペ/セダンモデル用とSUV用と、2タイプのホイールが用意されている点である。大きくクルマのキャラクターが異なるクーペ/セダンとSUVとで、デザインを分けることで、よりクルマとのデザイン面における親和性が高められているというわけだ。では、まずはSUVモデルから見ていきたい。1ピース鍛造構造で「グロス・ブラック・フランクカット」と「ブラッシュド」という2色が用意されるEX-flデザインSUVは、力強い直線基調

のスポークで構成されるラフメッシュデザインフェイスが採用されている。Y字型のスポークは、リムに突き刺さっているかのようなデザインで、その根元には強いインパクトを放つスリットが加えられて迫力を生んでいる。鋭く切り立ったエッジや、落とし込まれたセンター部分からリムへと立体的な形状とすることで、スポーティかつ高級なイメージが巧みに演出されており、SUVの足もとを逞しく魅せながらも、上質に彩るデザインに纏まられているのだ。

一方で、EX-flデザインクーペセダンという点、こちらのカラーバリエーションは「グロス・ガンメタ・カットフィニッシュ」と「ブラッシュド」。ただし1ピース鍛造構造を採用している点においては変わらない。しかし、デザインについてはラフメッシュというよりはマルチスポークデザインといえよう。SUVモデルが2×7のツインY字スポークを採用していたのに対して、こちらは3本のスポークがワンセットとなる3×5デザインを採用している。スポークはより細身となり、繊細でエレガントな印象を見る者に与えるのである。また、デザインクーペセダンでは、ホイールセンター部分を25.2mm落とし込んだ「フラットフェイス」に加えて、さらにセンター部分の落とし込みを強調させた「コンケイブフェイス」も用意されている。